

ぎやらりー わ

NO.75

2016年7月号



●花の村内散歩
ささゆり(菅田忠志撮影)

編集・発行 NPO法人グループわ (小畑 浩昭) ホームページ <http://www.wa-net.jp>
〒651-1102 神戸市北区しあわせの村シルバーカレッジ内 TEL.078-743-8101 FAX743-3830



舞台パフォーマンス

琵琶湖周航の歌などを歌う混声合唱団コーロKSC

理事長に小畑氏再任

〈わ〉新体制でスタート 第13回総会

NPO法人グループわの第13回定期総会は、5月21日(土曜日)にカレッジホールで開かれ、27年度の事業報告と28年度の事業計画を承認、理事長に小畑浩昭氏を再任しました。小畑理事長は「〈わ〉の会員は4月28日現在で1411人の大きな組織。この4月からは水の科学博物館の受託事業も始まり、今の所、順調です。会員のみなさまのご支援、ご協力よろしくお願い致します」とあいさつ。新任の理事6人、非常勤理事、監事も含め20人の新体制で28年度の活動がスタートしました。総会后、功労会員に選ばれた会員1人と3団体の表彰式も行われました。午後からは、今回が2回目の試み「グループわ 交歓会」(舞台パフォーマンス)が開催され、グループ10団体が参加。日ごろの練習の成果が披露され、熱い拍手が送られました。

(2、3、4面に関連記事 取材・写真 広報 永野知己)



ボランティアの
輪をひろげよう

国際会議でお茶、書道の出前教室

75
号
の
内
容

13回総会詳細	功労会員表彰	2・3・4面	活動レポート	7・8面	
しあわせの村	水の科学館イベント	5面	カレッジだより	ボラ報告会など	9面
ボランティア最前線(書道部)		6面	イベント予定	7月~10月	10面
ボランティアの心		7面	WAからのお知らせ		11面

組織の点検整備と 子供たちの健全育成を重点に！

グループわ 第13回定期総会



5月21日に開かれた定期総会で小畑理事長は「本年度も組織の点検整備と子供たちの健全育成を重点課題として取り組む」との姿勢を打ち出しました。

総会は午前10時に増金スミ子さん(福11)の司会で開会。小畑理事長が「お忙しい中、多くの皆様にご出席いただきありがとうございます。午後には昨年に引き続き交歓会を行います」と挨拶。



来賓を代表してシルバーカレッジ服部祥子学長から「自身もシルバー世代であり、皆さんに共感しています。ボランティア精神をもって、社会のために活動することは大変重要であり、<わ>の皆さんが英知を結集して、活動して欲しい」との祝辞がありました。

続いて議長に加藤勇治氏(美10)を選出「出席者225委任状748の計973で定足数709(会員総数1418人の2分の1以上)を上回っており、総会は成立」との報告があり、議事に移りました。

小畑理事長は「27年度は、組織の点検整備を進めるとともに、子どもの健全育成を中心とした事業を推進。昔の生活体験・戦争体験を含む小学校の学習支援、花実の森の里山整備活動を進め、子どもや親を対象に自然環境体験学習を推進しました。また(ぎやらりーわ)の充実とホームページの内容充実に努めました。東北支援活動は5年目に入り、7月に第6次チームを名取市や女川町に派遣し、保育所や小学校、仮設住宅、復興住宅を訪問、交流を深めました。会員のスキルアップ講座として気象庁の防災気象情報について学びました」

【平成28年度の新役員】

理事長	小畑 浩昭	(国16) =	・北
副理事長	水町 亮治	(生18) =	企画・中央
副理事長	田中 伸一	(福19) =	財務・長田
理事	米増 享二	(音19) =	総務・北
理事	杉原ふき子	(生18) =	総務・須磨
理事	永野 知己	(生18) =	広報・須磨
理事	岡本 紘一	(生18) =	広報・垂水
理事	藤田 健一	(福19) =	広報・西
理事	四方 久幸	(国18) =	事業・北
理事	内村ナナ子	(国18) =	事業・中央
理事新任	宮田 幸長	(美17) =	企画・東灘
理事新任	市原 俊彦	(園20) =	企画・中央
理事新任	大槻 隆文	(食20) =	総務・西
理事新任	五島 敬子	(食20) =	財務・中央
理事新任	川部 忠夫	(福20) =	事業・須磨
理事新任	平松 一	(生20) =	事業・須磨
理事(非)	道満 俊徳	(生13) =	区会長・北
理事(非)	柳川瀬 淳一	(国13) =	部会長・須磨
監事	堺 汎	(園15) =	・西
監事	吉本 弘	(音17) =	・垂水

【区会長】東灘=中谷 一郎(生15)

灘 =廣瀬 庫司(園17) 中央=島ノ江繁吉(生18)

兵庫=大掛 敏夫(生7) 北 =道満 俊徳(生13)

長田=藤田 忠之(福13) 須磨=細野 恵久(福3)

垂水=武内 宏(生19) 西 =戎井 正俊(生17)

【部会長】福祉=加藤 勇治(美10)

国際=柳川瀬 淳一(国13) 環境=堀池 邦康(生17)

文化=重松 豊彦(国9) いきがい=長谷川 博(生9)

▽須磨=ノ谷 プラザ責任者=藤田 忠之(福13)

▽学習支援委員会 委員長 =堺 汎(園15)

などの事業報告と決算報告があり、南形監事の監査報告の後に、拍手で承認されました。

続いて新役員20人(別表)が拍手で承認され、小畑理事長が28年度の事業計画を説明。「本年度も組織の点検整備と子供たちの健全な育成を最重要課題として取り組む。地域振興や福祉・文化・環境・国際などの分野での活動を通じて、社会に貢献する。」と述べ、28年度の事業計画、事業予算を原案通り、拍手で承認、11時過ぎに議事を終了。区会長・部会長16人(別表)を紹介。その後功労者表彰がありました。(詳細別紙)



この一年間に亡くなられた会員の方に対し全員で黙とう

昼食休憩をはさんで12時40分からカレッジホールで本部・区会・部会の活動紹介をパワーポイントを駆使して実施しました。

続いて交歓会（パフォーマンス）が行われました。

福祉部会から2グループ。「あんだんて」は朗読・紙芝居・オカリナを披露。「一寸奉仕」は白波4人男を披露。御用だ！御用だ！の提灯や投げ銭など、盛り上げに一役買った方、ご苦労様でした。

文化部会から7グループ。「KSC手話ソング同好会」は（広い河の岸辺、365日の紙飛行機）を披露。「KSC民謡クラブ」は三味線、篠笛などの生演奏で民謡と踊り（秋田大黒舞、斎太郎節）を披露。「わらい届け隊」は新たなメンバーも加わり、チンドン屋でユニークなパフォーマンスを披露しました。



（腹話術）

「KSC男声合唱団」は平均年齢74歳のおじいちゃん（夢をみようよ、北国の春など）を披露。「楽遊クラブ銀雅」は日本民族芸能「銭太鼓」で（河内おとこ節、日本列島お祭り音頭など）を披露。「詩吟同好会」は25人の合吟でみんなで『楽しく大声を出そう！』をモットーに詩吟を披露。「混声合唱団コーロKSC」は男女70数名による混声合唱で、（琵琶湖周航の歌、組曲のふるさとの四季から5曲）を、内閣府から表彰を受けられた実力を発揮されていました。

環境部会からは1グループ。「チームたんすの肥やし」は、手持ちや寄贈された古着をリフォームしてのファッションショーを披露しました。

（写真 永野知己・岡本紘一 編集 藤田健一）

新理事の抱負 微力ながら頑張ります

◇宮田 幸長（企画） 水の科学博物館担当です。4月から〈わ〉が運営を開始しましたが、初めての事ばかりで、戸惑いの連続で、皆さんの協力支援のおかげで、ようやく軌道に乗っています。7月22日から8月31日までクールスポットで入場無料です。7月23・24日、8月13・14日は「みずはく縁日」を開催します。他にもイベントを企画していますので、詳細はホームページをご覧ください。

皆様の来館をお待ちしています。

◇市原 俊彦（企画） シルバーカレッジで初めてボランティア活動を経験しました。いろいろな心配事、不安を抱えながら、良い経験をさせていただきました。この度、〈わ〉のお手伝いをさせていただくことになりました。ボランティアの経験も知識も少なく、また芸・技も持ち合わせていませんが、少しでも、お役に立てればと思っています。

◇大槻 隆文（総務） カレッジ卒業にあたり、「再び学んで他のために」の校訓にある通り、神出での豆腐作り、日本語サポーターのボランティアを考えていたところ、グループわの一員として活動させて頂くことになりました。皆さんと共に、地域社会に少しでもお役に立てればと、思っています。

◇五島 敬子（財務） 〈わ〉の活動の知識もないままお引き受けし、大きな組織に戸惑いを覚えましたが、先輩達の、「再び学んで他のために」を労を惜しまず実践しているお姿に感銘を受け、私も共に頑張らせて頂こうと意を新たに致しております。

◇川部 忠夫（事業） グループわの本部を中心に、9区会・5部会（63サークル）があり、1,400人余りの大組織の中で自分の能力を発揮出来る仕事があるか、少し不安があります。事業担当として過去のイベント等を継承すると共に新規の顧客・イベントを取り入れるべく微力ながら、〈わ〉の発展のために頑張ります。

◇平松 一（事業） 在学中は〈わ〉とは殆ど関わりのない学生生活でしたが、この度縁あってお手伝いすることになりました。入会してみると多彩な活動をされていることに驚き、今後会員の皆様が活躍できるように、微力ですが頑張りたいと思います。

功労賞 個人1人・3団体を表彰

グループわ の28年度功労賞に選ばれた個人1人・団体3グループが5月21日開催の〈わ〉第13回総会で表彰され、小畑理事長から表彰状と副賞が手渡されました。個人は、小埜直（音6）、グループは、戦争語り部グループ（渡辺寛治代表）・K S C手話ソング同好会（北島輝子代表）・へ音記号（下村玲子代表）です。

表彰式には、選ばれた個人1人とグループ代表3人の計4人が出席。小畑理事長から「長年にわたってボランティア活動に励み、グループわ の発展に貢献されました」と感謝の言葉があり、その後皆さんの活動ぶりがパワーポイントで紹介されました。今回で7回目となる表彰制度は、個人で7年、団体では5年以上のボランティア活動歴があり、〈わ〉の活動に貢献している個人やグループが対象です。



受賞者の皆さん(左から) 小埜直〈KSC男声合唱団指揮者〉、西阪順三〈戦争の語り部グループ〉、北島輝子〈KSC手話ソング同好会〉、下村玲子〈へ音記号代表〉の皆さん

今後も活動を続けます

表彰式に出席の皆さんから寄せられた受賞の感想をご紹介します。(敬称略)

▼小埜直＝功労賞を頂き、大変光栄に思います。私としては自分の大好きな男声合唱を指揮、作曲編曲という形で続けて来ただけのこと、今回の受賞は、私のつたない指揮、作曲編曲を支えて下さった団員の皆様のお蔭と心から感謝申し上げます。受賞を励みに今後も皆様のお役にたてればと思っています。(KSC男声合唱団の小林精一さん推薦)

▼戦争語り部グループ(渡辺寛治代表 在籍6人)＝「戦争体験：神戸大空襲を語る」と題しての私共の語り部活動が功労賞として表彰され、誠に有り難く存じます。平成17年に活動を始めて以来、去年は12校(小学校10校・中学校2校)で戦争の背景や学童集団疎開と空襲の凄惨な有様など、子供達に命と平和の尊さを語り続けています。(前監事南形徹さん推薦)

▼K S C手話ソング同好会(北島輝子代表 在籍50人)＝功労賞を頂き、会員一同感激しています。永年続けてきた高齢者施設や地域福祉センターなどでのふれあい活動を、さらに充実させようと、工夫を加えて企画し、心を新たに、練習に励んでいます。この賞を励みに、今後も健康に留意し、活動を続けたいと思います。(KSC民謡クラブの待鳥孝雄さん推薦)

▼北区地域活動グループ”へ音記号”(下村玲子代表在籍3人)＝この度は、功労賞を頂き有難うございました。身に余る光栄でメンバー一同喜んでます。

へ音記号 地域の高齢者施設等へ健康維持活動
K S C手話ソング同好会 手話で慰問活動
戦争語り部グループ 学習支援で学校訪問
小埜直(音6) K S C男声合唱団の指揮者として

「真星病院」と「まほしの里」でそれぞれ月1回、“カラオケ教室”として童謡・唱歌・歌謡曲など10数曲をキーボードと大正琴の伴奏で歌っています。手品やリズム表現なども楽しんでます。参加の皆さんの大きな歌声と笑顔で、私たちの方が元気をもらっています。(北区会の木田育義さん推薦)

(編集 広報・藤田健一)

新緑の摩耶山をウォーキング

グループわ と「森の仲間」主催の新入会員歓迎「初夏の森林浴ウォーク」が6月8日(日)、摩耶ケーブル下 桜谷一トウエン ティクロスーブリの滝一新神戸



駅のコースを歩きました。幸い梅雨の晴れ間となり、25人が参加し、新緑を楽し

みました。自然観察園では木の枝に産み付けられたモリアオガエルの泡状の卵を観察。桜谷出合で昼食休憩。このとき、「森の仲間」の菅田忠志さんは溪流に入り、ハヤを釣り上げました。

(写真 事業・四方久幸)

〈わ〉で遊ぼうイベント開催

5月の連休中、水の科学博物館で

グループわ が受託している水の科学博物館は、5月の連休中に親子連れを楽しませようと「和(わ)で遊ぼう」イベントを開催しました。

4日はわらい届け隊が午前2回、午後2回公演。古後健一代表(福18)、熊坂真佐子(同)、池内瞳(同)、狛谷貞夫(同)、近藤千恵子(同)、松井照雄(同)、米田よう子(食18)、石田定徳(福20)さんの8人が参加。観客は毎回約30人。

まずチンドン屋の衣装をまとった8人が太鼓を打ち鳴らしながら入場。マジックの古後代表は「見えた、知ってる、わかったと言わな



子供たちと毛糸の手遊びをするメンバー

いで。演じる人ががっくりします」とお客さんの笑いを誘います。そして子どもに2本の筒を持たせ、ピンポン玉を入れて「チチンパイ」と呪文をかけると、あら不思議、別の筒からピンポン玉が出てきます。松井さんは大きな袋を取り出し、「エイ」と掛け声をかけると小さなカラフルな傘が現れます。「妖怪ハウス」



マジックを披露する米田さん

と描いた空っぽの段ボール箱からは、なんと美女が飛び出てきます。トリックを見破ろうと身を乗り出して見守っていた子供たちから、そのたびに「ウォー」と歓声が上がります。また、子どもたちが選んだ妖怪ウォッチの名前や、相手の誕生日を言い当てるゲームとか、毛糸の手あそびなど、会場のみみんなと一緒に楽しむプログラムが主でした。最後に、みんなで「サザエさん体操」で締めくくると、来場の親子は「面白かつ

た。楽しかった。歌とゲームがよかった」。スタッフも「観客の反応がよく、やりやすかった。自分も楽しんだ」と話していました。

3日はおはなし糸車の紙芝居とエプロンシアター。5日はむかしあそび研究会の折り紙、ぶんぶんごま、紙トンボ、はねかえるなど。7日はKSCマジッククラブ、8日はうらしまたろうの皿回し、バルーンアート、面白メガネなどで遊びました。

わいわいストリート賑わう

しあわせの村芝生広場

「パパ、やった！竹馬に乗れたよ」。小学校1、2年生の男の子が目を輝かして叫びます。

グループわ、こうべ市民福祉振興協会主催のわいわいストリートが5月3日、しあわせの村芝生広場で開かれました。〈わ〉のむかしあそび研究会の70人、木工グループ23人、ケナフの会20人、うらしまたろう8人と本部約20人の計140人が親子連れを相手に奮闘しました。参加料200円を払った子供380人を含む1000人がイベントを堪能しました。

むかしあそび研究会は手玉、はねかえる、折り紙、あやとり、ぶんぶんごま、竹馬、紙飛行機、けん玉などのブースを設置。風が強くと紙飛行機が思わぬ高さまで飛び、子供は大喜びでした。



木工グループはトラ、カバ、自動車、汽車、昇り人形などの

ケナフで漉いた紙に押し花をのせて絵はがき作り

材料を用意。子供たちは板に形を描いて置き、苦労して糸鋸でくり抜きます。ケナフの会はケナフで紙を漉き、押し花をのせて乾かす絵葉書づくり。100人分の材料を用意、押し花を集めるのに苦労したといいます。うらしまたろうはバルーンアート、皿回しを準備しました。このほか、妖怪ホイホイ、輪投げ、ドラエモンキャラクターなどのブロック絵合わせも人気でした。これだけたくさんの遊びができるチャンスは珍しく、わいわいストリートが神戸っ子に定着しているように見受けられました。

(取材・写真 広報 永野知己)

「すごい書道やってた？」

デイサービス施設に出前教室



書道部

ボランティア最前線

(左から)島ノ江さんと元田さん

「うまい、格好いい。若いころ習字やってたのかな」、「えへへ、きれいに書けたやろ」一。温かいことばが教室に飛び交います。

5月14日、グループわ 書道部(鐘築重治代表=国7)のデイサービス施設「ひまわりの家」(灘区都通り)での書道教室に取材に伺いました。この日の講師は元田弘忠さん(生9)と応援の島ノ江繁吉さん(生18)。参加者はデイサービスに通うお年寄り22人。

この教室は平成17年から毎週土曜日、午後1時30分から午後3時まで開催。12年目です。元田さんのほかの講師は川畑隆さん(生15)。2人で交代で月に2回づつ教えています。

講師はあらかじめお手本を書いてきて、教室の前に張り出します。きょうの課題は「志操堅固」「はる

「旅に出る」「君子三楽」「神秘」の五つ。課題の意味は講師が説明。「三楽」とは①親兄弟が健在なこと②天に恥じないこと③英才を教育すること一です。施設の職員は筆、墨汁、半紙、下敷き、下敷きの下にしく新聞紙を用意。お年寄りはお手本のコピーを手元に置き、さっそく練習を始めます。

80歳代半ばの男性は90分間に7枚を書きあげました。

「習字は元々、好き。昭和12年、香川県の旧制三豊中學生のころ、有名な書道家で、国定小学書方手本を書いた鈴木翠軒先生に手ずから教えて頂いたのが忘れら

れない」と言います。ある女性は自分の書いた書を見せ「先生、上手と言うてよ」と催促。別の女性は「家で練習しようと思うけれど、中々出来ない。準備をするのがおっくうで」と。

生徒が提出した半紙の字を赤筆で添削する2人の講師の机の前に多い時では7、8人が並び、額に汗を滲ませながらの奮闘。元田講師は「生徒さんが一生懸命なので張り合いがある」と言います。

施設の山岸主任は「昔は、幼いころから習字に親しんでおり、書道を楽しんでいるよう。1人暮らしの人が大半で、日ごろは会話がな。ここに来て字を書きながら仲間とおしゃべりし、人と触れ合うのが大切。講師に来ていただいて大変ありがたい」と話していました。

◆書道部 文化部に所属、会員40人。毎月3回、現役学生19人としあわせの村研修館などで練習。高齢者福祉施設や児童館などを訪問、習字や書き方指導ボランティアをしている。現在16施設で月に1回~4回、1回につき1~3人が担当する。毎回平均15人の受講者があり、平成27年度は約3300人が受講した。クラブ員は「書道は一生つきあえる趣味。体が弱って出歩けなくなった時でも続けられる」という。年に2回、検定試験がある。初心者には書道を始め2年ぐらいで初段になるそうだ。(取材、写真 広報・永野知己)

ボランティアの心

東北支援の5年で得たもの

グループわで5年間、東北大震災の支援活動に携わった。阪神大震災では、神戸市民でありながら、仕事の関係で被災者のお手伝いができず、忸怩たる思いを引きずっていたことが大きい。

高2の時、伊勢湾台風に遭い支援物資のお世話になったこともある。それだけに大災害への関心は強いようだ。大規模な震災ボランティア活動はグループわとして初めての試み。「遠い東北まで出かけて何ができるのか」。不安は大きかったが、「20年前の先輩たちを忘れまい。子供やお年寄りに寄り添い、息の長い支援をやろう」との意気込みが勝った。

準備に3か月かけ、2011年7月には第1次チーム総勢15人が車4台で南三陸に向かった。KSCで集まった段ボール65箱の支援物資を届け、田んぼのガレキ運びや昔遊びで交流を重ねた。



東北第4次隊の折、名取市閑上地区で(2013年7月)

以後、現地の拠点を主に名取と女川に絞り、第6次まで延べ80余人が現地を訪れて大津波で壊滅した町々の惨状を目の当たりにしてきた。山の中にまで流れ着いたボート、鉄骨だけが残る防災庁舎、メンバー全員が大泣きした廃墟の大川小学校。

無残な爪跡は脳裏から離れないが、5年間の何よりの成果は、子供たちや被災者と直に語らうことができたことだろう。

「息子も夫も亡くした。私だけ生きていて申し訳ない」と涙声のおばあさん。「仮設では泣けないから、夜を待って外で泣くんだった」というおじいさん。七夕飾りの短冊に「宝くじが当たりますように」と書く子供たち(両親にあげるらしい)…。心が痛むエピソードは数多い。

東北支援チームのメンバーは、個人ではできないような貴重な経験をさせていただいた。KSCの皆さんからの応援やサポート募金のお陰だと心から感謝している。(南形 徹・生14 前監事)

活動レポート

国際会議でお茶、習字の出前教室(わ)のボランティア団体が提供

「日本のお茶は平和の味」中国人学者の感想です。グループわの書道部、茶道の有志グループと国際部会(柳川瀬部会長=国13)は神戸芸術センターで開かれた国際学術会議の参加者を対象にした茶道教室と習字教室を開きました。茶道が4月2日、30日、6月4日の3回。書道が4月5日と9日。参加者の総数は240人。大変好評でした。

国際部会のメンバーが「最近、通訳の仕事が細り、活動の場が少ない」と嘆いているのを事業担当理事が耳にし、神戸国際コンベンション協会に相談。国際会議の世話役のIAFOR(インターナショナルアカデミックフォーラム)を紹介され、メールで数回やりとり。「日本文化の粋、茶道と書道の体験教室を受け持ってほしい」とのことで開くことに。

6月4日の茶道教室。アジア、日本文化研究者の国際会議参加者約30人が昼休みに教室をのぞきました。和風の赤い色をした大きな傘が飾ってあります。柄

の部分に生花を飾り、「日々是好日」と書いた短冊も付いています。お茶の先生筑田まり子さん(一般)が参加者の目の前で茶をたて、飲んでみせます。和服を着た茶道有志グループの坂本佐和子(音17)、敦見和子さん(音19)ら8人がたてたお茶を顔の前にかかげて客に運びます。高価な干菓子の代わりはチョコレート。お茶を飲む前にいただきます。通訳は柳川瀬さんのほかに川端皓孔さん。

「なんでお茶碗を回すの?」「どうやって飲むの?」などの質問が相次ぎました。みなさん、初めての体験。「これが日本のおもてなし。心がもっている」とお茶を心ゆくまで楽しんだようでした。



4月9日は書道教室。書道部(鐘築重治代表=国7)の島ノ江繁吉(生18)、岩井俊明(音6)、成瀬和夫(生12)、横田忠男(生15)さんら6人が筆、硯、文鎮、

半紙などを用意して待機。通訳として柳川瀬さんのほか芳賀順子(福10)、高見芳明(国17)さんも参加しました。

人文学・図書館会議の参加者が、三々五々、姿を見せます。アメリカ、エジプト、トルコ、台湾、中国など国籍は多種多様。

部屋には机と椅子15人分をならべました。書道部が参加者に手本を示し、それを真似るよう促します。20分ほど体験すると次の人と交代。参加者のほとんどが筆を握るは初めて。筆の持ち方も書き順もバラバラです。あるアメリカ人は神戸に7年留学。今は韓国で働いています。「花」と書き終えて「良男」と署名。「なぜか」と聞くと「姓がgoodman」とウインク。ユーモアたっぷりです。台湾の人は「神戸」と書きましたが、書き順は正確でした。



この日の参加者は約50人。島ノ江さんは「思ったよりにぎやかに書道を楽しんでくれたようです。英語の勉強も少しは必要かな」と話していました。

(取材・写真 広報 永野知己)

楽遊クラブ銀雅 神戸まつりに参加

第46回神戸まつり、区民の祭りである東灘区「うはらまつり」と長田区「長田フェスティバル」に楽遊クラブ銀雅が今年も参加しました。両日ともに好天に恵まれ暑期中、沢山の見物の人たちに元気をお届けすることができました。

5月15日 三井住友BK前の「KOBE夢太鼓ステージ」では、神戸育成会ワークみくらと楽遊クラブ銀雅との共演で「いい湯だな」を。



5月14日 長田区 区民祭り「長田フェスティバル」では、若松公園鉄人28号前ステージで、毎年恒例の「鉄人28号」の曲に乗せて演技を披露。

(楽遊クラブ銀雅代表 阿部和子 福11)

中央区会 **観桜会 4月6日に開催** 『今年は春から縁起がいいぞ!』 まさにH28年度中央区会新体制で臨んだ春恒例の花見『観桜会』は“桜も満開! 天気も見事な快晴!” こんなに天気に恵まれた花見は何年ぶりだろうか?…と参

加者の誰もがウキウキ爽快な気分になりました。

平成の大修理を終えて1年経過した姫路城大天守閣から見下ろす姫路城下、そして城内公園の見事に咲き誇る桜を見て、まさに歓天喜地の心境と天下泰平とを感じたひと時でした。

パターゴルフ大会 5月18日に開催 しあわせの村すずらんゴルフ場で『第11回パターゴルフ競技会』を実施しました。4月の『観桜会』に続き、朝から絶好のゴルフ日和でした。ただ、女性の参加者はあまりの好天にちょっと日焼けを気にしていました。成績は、優勝が常勝続きの五味正昭さん(福7)、準優勝は前区会長の久保正志さん(国14)、3位には見事に女性が入り横山登代子さん(食18)。そして、今回の圧巻は、本大会初の“ホールインワン”を出した元田弘忠さん(生9)です。今回は女性が3名参加。いずれもパターゴルフは初めてだったそうです。(中央区会長 島ノ江繁吉 生18)

垂水区会 **総会・懇親会 4月2日に開催** 垂水勤労市民センター多目的ホールで13時30分から総会が開催され、40名の会員が参加。

活動報告・活動計画の議案が多くの拍手によって承認され、今後の運営は18期生から19期生に無事バトンタッチされました。

引き続き、14時から懇親会が開催されました。食事をしながら恒例となったビンゴゲーム、全員での合唱そして記念撮影をして散会となりました。

西区会 **総会・懇親会 5月23日に開催** 35名の出席のもとプレンティールホールで定期総会を開催。報告・決算、28年度活動方針・予算が承認されました。19名の区会役員が選出されました。

議事終了後、神出自然教育園グループの坂本代表より、神出自然教育園での活動内容の報告があり、新会員の入会の呼びかけがありました。総会終了後、喫茶トマトで27名が参加し懇親会を開催しました。

東灘大邸宅ちらっ見散策 開催 5月30日、阪急御影駅北広場に参加者20名が集合。2班に分かれ「東灘ボランティアガイドの会」5名の案内で、御影住吉豪邸・豪邸跡を散策しました。小原邸・大林邸・村山邸・武田邸・乾邸等を外から眺める。大林邸では、一直線に伸びる長い塀、高台に建つ望楼、敷地の広さにため息をつく。弓弦羽神社を参拝、この神社には多くの絵馬があり、スケートの羽生選手、サッカーの澤選手の絵馬もあるようです。散策後、かごの屋で昼食。ビールで乾杯、美味しい食事をしながら懇談し、この日の散策を終えました。

(編集 広報 岡本紘一)

カレッジだより



新入生歓迎交流会

3学年合同の23期新入生歓迎交流会が5月24日～31日の間、健康福祉、国際交流、生活環境、美術工芸・音楽文化、園芸・食文化の順番でカレッジホール・学習室でそれぞれ実施されました。アトラクションや写真撮影などで会場は大いに盛り上がっていました。

ボランティア活動報告会

第21回ボランティア活動報告会が 6月15日(水) ボラセン傘下の28グループが参加して開催されました。カレッジホールではボランティアセンターの役割・組織各グループ活動紹介が行われました。グループわからも本部活動・部会活動・区会活動などの紹介をパワーポイントで行ないました。続いてパフォーマンスによるグループ紹介が人形劇をトップに混声合唱まで12グループが日頃の技を披露し、多くの拍手を受けていました。ふれあいホールでは作品展示と販売が行われると共に、グループわのパネル展示も行ないました。和室ではKSC茶道部が、園芸室ではケナフの会による紙漉き体験教室が開かれました。

ふれあい喫茶10周年の集い

グループわ ボランティア団体、一寸奉仕代表の増金スミ子さん(福11)が、神戸市西区上新池の自宅を開放して月に2回、ふれあい喫茶を始めて、今年で10年。これを機に6月12日(日)昼、10周年の集いを自宅で開催、近所のお年寄りら50人がかけつけました。〈わ〉

楽遊クラブ銀雅代表の阿部和子さん(福11)とSCクラブ大正琴代表の前田仁子さん(福11)は同級生のよしみで設立当初からサポートしているそうです。増金さんらは、前日夕方から料理を仕込み、12日は朝早くから料理作り。テーブルにはトリから揚げ、サラダ、肉じゃが、野菜天ぷらなどがぎっしり。食事の合間にはマジッククラブの南形公子さん(福13)の演技、前田さんら3人の大正琴と阿部



さんら3人の銭太鼓の演奏がありました。阿部さんらはオカリナも演奏。みなさん、懐メロを歌って大変、盛り上がりました。(広報 永野知己)

熊本地震支援募金額39万円

グループわ は、4月14日、熊本で発生した震度7の地震で被災された方を支援するために、義援金を募っていましたが、6月30日現在で53件、39万円が集まり、深く感謝申し上げます。このお金は神戸市社協などを通じて現地に贈りました。

またカレッジ現役学生のボランティアセンターも5月末までに約35万円を集めました。

熊本地震募金賛同者(2016年5月～6月30日)

総会募金箱6,230円 小畑浩昭 1万円 豊辺充也 1,500円
折り紙グループ悠々 14,040円 長井夏子 5千円 中央区会 11,500円 牧田譲 3千円 坂口勝 1,500円 井奥絵 3千円、
KSC詩吟0B会20,602円 混声合唱団コーロKSC 4万円 う
らしまたろう 1万円 茅中英一 2千円 長谷川洸士 3
千円 真崎光 1万円 阿部和子 1万円 江本和嘉子 1
万円 永野知己 5千円 KSC手話ソング同好会 30,800
円 楽遊クラブ銀雅 2万円 伊谷正弘、幸子 2千円
西村和子 5千円 熊小澤輝彦 3千円 大正琴プリム
ラ 5千円 森の仲間 14,218円 22期音文クラス 17,2
23円 柳川瀬淳一 3千円 水町亮治 1万円 KSC男声合
唱団 18,984円 増金スミ子 1万円 須磨竜が台地域グ
ループ 8,300円 堺汎 2千円 清水邦夫 1,500円 中井
文太郎、淳子 1万円 SCクラブ大正琴 1万円 野鳥と
自然観察会 5千円 山口昭則 3千円 中部周二 千円
清田慎二 1万円 藤井健次 3千円 板野武一 2千円
大垣広司 5千円 山口俊雄 3千円 中須賀毅 2千円
木田育義 2千円 飯川泰郎 5千円 米増享二 千円
横井正昭 千円 岡松剛 千円 道満俊徳 5千円 中野
昭久 5千円 (53件 391,397円)

サポート募金賛同者

(2015年7月1日～2016年4月1日分)

〈わ〉野鳥と自然観察会 5千円、2015年度音文交歓会 1600円、13期福クラス会 3008円、橋野美子3360円 松井康有 500円 衣笠弘美 千円 鐘築重治 3千円、安田夫市 1500円、堺汎 5千円 (9件 23,968円)

20周年記念事業実行委員会の発足に向けて

グループわ は、来年7月22日に設立20周年を迎えます。昨年の12月より7名の理事で準備委員会を立ち上げ、6月からは新理事5名を加えて、9月の実行委員会発足に向けて、全体構想等を検討しています。

9月からは運営委員会メンバーなど、新たなメンバーも加えて、記念式典・記念イベント・記念誌・作品展示・市民交流など、その詳細について検討します。

グループわ 7月～10月のイベント

開催日時・場所	テーマ・内容と協力グループ	連絡先
7月30日(土) 16時～20時 しあわせの村 芝生広場	しあわせの村まつり 協力：うらしまたろう、むかしあそび研究会、本部スタッフ	こうべ市民福祉振興協会 743-8092
8月7日(日) 9時40分～ 13時40～ しあわせの村 野外活動センター	夏休み昆虫採集と標本づくり教室 講師：宮崎敏哉先生 協力：里山和楽会	グループわ 743-8101
8月2日(火)～14日(日) 10時～15時 水の科学博物館	<わ>で遊ぼう！ 夏休み工作 協力：花実の森、ケナフの会、たんすの肥やし、楽遊クラブ銀雅 むかしあそび研究会、木工グループ、うらしまたろう、 野草クラブ、里山和楽会、マジッククラブ、	水の科学博物館 351-4488
8月21日(日) 10時～12時 13時～15時 しあわせの村 研修館	夏休み工作塾 協力：花実の森、ケナフの会、里山和楽会、里山グループ 木工グループ、むかしあそび研究会、絵手紙グループ、創エネ神戸	こうべ市民福祉振興協会 743-8092
9月19日(月・祝) 13時～16時 こべっ子ランド	<わ>のたのしい秋祭り 協力：うらしまたろう、おはなし糸車、むかしあそび研究会	こうべ家庭センター 382-2525
10月15日(土) しあわせ村	グラウンドゴルフ大会	グループわ 743-8101
10月23日(日) しあわせの村	バードウォッチング 冬鳥を観察しよう！ 協力：野鳥と自然観察会	グループわ 743-8101

野鳥観察会 びっくりの発見

グループわ 主催の野鳥観察会が4月29日、しあわせの村で開かれました。野鳥と自然観察会の堀池代表(生17)、難波美智子(生20)、豊辺充也(生18)、丸井宣夫(生12)、茅中英一(生11)さんがガイド役。

野外活動センターから堂坊池の往復3キロ余りを歩いて野鳥の姿を求めました。参加者は初心者が多く21人。

堀池代表は「鳥の動きは素早く、なかなかキャッチできない。鳴き声で鳥の種類を特定、居そうな場所を探すのが早道です」と挨拶し双眼鏡の使い方をレクチャー。「メガネをかけている人はこの部分を触るとよく見えます」と聞き、さっそく試してみると「オーよう見えるわ」と感心しきりです。

スタート地点の芝生にヒヨが歩いているのを見つけ、交代で観察。ハクセキレイ、シジュウカラ、ウグイス、ソウシチョウ、オオタカ、コシアカツバメなどを観察できました。堂坊池では水上の巣で卵を抱いているカイツブリを発見。水鳥は動き



がゆっくりなので堂坊池には必ず、立ち寄るそうです。参加者は「視覚は限定的。聴覚は360度だから鳴き声から入れと教わり目からうろこ。わかりやすく、ユーモアたっぷりの説明で大満足です」と感想を話していました。

(取材・写真 広報 永野知己)

東北支援チームが同窓会

東北支援チーム(1～6次)に参加したメンバー18人が6月9日、三宮で同窓会を開き支援活動の思い出を語り合いました。当時の記録ビデオを見ながら、田んぼ作業や昔遊び、三味線・銭太鼓の公演、料理交歓会、スポーツ交流会などの体験談を1人ずつ発表しました。わけでも、現地の惨状に涙が止まらなかったこと、仮設住宅の皆さんと本音で話し合えたことが深く心に残っているようでした。「しんどかったけど支援活動はやってよかった」「現地と<わ>との絆が築けた」との思いが皆さん共通の声でした。

現地への派遣メンバーは計42人、延べ80数人になります。「5年経って支援活動に区切りがついたので、一度集まったら」ということで今回の会合になりました。ゲストの理事長からは熊本地震支援の話も出ましたが、「東北で見せた結束力を、今後もKSCの活動に生かそう」と誓いあって散会しました。

(元東北支援チーム・南形徹)

WAからのお知らせ



〈わ〉の会員総数1,400人突破！

5月27日現在、皆さまのご協力により、会員総数は計1,423人になりました。新入会員は171人。

●神戸空襲写真展～平和を願って 8月3日(水)～9日(火)に、カレッジふれあいホールで、「第2回神戸空襲写真展」が開催されます。神戸の戦争遺跡のマップ、神戸空襲に関する写真などを展示して、平和の尊さについて考え、平和な街・神戸を考える機会とします。8月6日(土)と7日(日)の14時から「戦争体験を聞く会」が開かれます。

●文化部会に新クラブ誕生

銭太鼓 神戸輝星会(重松豊彦代表 会員9名)は、平成28年6月に結成したクラブです。神戸市シルバーカレッジで銭太鼓に出会い、卒業後も銭太鼓のクラブに所属し、シルバーカレッジの建学の精神である「再び学んで 他のために」を実践してきました。今回皆さんにより楽しんでいただける活動をしたと考え、新しくクラブを結成いたしました。高齢者、児童、障害者、一般の方など幅広い皆さんに楽しんでいただけるように、演技曲も民謡から、演歌、歌謡曲、童謡、唱歌、アニメソング、時代劇主題歌などを準備しています。

体験コーナーでは皆さんと一緒に銭太鼓を楽しんでいただきます。また銭太鼓だけでなく、愉快な「なべふた踊り」や「炭坑節」などの踊りもお楽しみいただきますので、よろしく願いいたします。(連絡先 TEL 811-5814

, E-mail: houyu0243@mou.ne.jp)

●90歳のバリトンコンサート

グループわ 会員で垂水区在住の陰山恭道さん(音8)が7月31日(土)午後2時から、舞子ピラあじさいホールで「90歳の挑戦 歌曲コンサート」を開きます。カルメンの「闘牛士の歌」をはじめ小学校唱歌、歌謡曲、軍歌、オペラのアリアなど。

奥さんの陽子さんがピアノ伴奏。陰山さんはバリトンで男声合唱団を立ち上げた1人。コーラスタルミも友情出演し〈わ〉も後援しています。

●〈わ〉のお盆休み 事務局は、カレッジの閉館日である8月10日(水)・12日(金)は全館消毒、清掃のため、休みとさせていただきます。

カレッジの閉館日は8月10, 12, 22, 23, 31日です。

●76号(10月号)の発行 2016年10月中旬です。

グループわ 本部のメールアドレス

広報・ホームページ wa_gallery@wa-net.jp

こども達の思い出づくりに！

つぶやき

私のボランティアの対象は児童が中心になっております。そこで、私が意識していることは、結果を見て常に「褒めてやること」です、それも大げさに！。その為に「褒める内容」を何時も探しています。自信を持たせる事、ヤル気にさせる事、そして挑戦させる事。この様に接していると、余りお喋りしなかった子が、笑みを浮かべ、話し出してくれる。そして時には“もう一回挑戦してもいい”と言ってくれる。ボランティア冥利につきる瞬間。何時もこの様な光景を思い浮かべ、子供達と接しています。

「一番大事なことは褒める事」。これはかの名将と言われた山本五十六大将の名言集に“やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ”との言葉があります。人を導く基本行動は、成果について「褒めてやること」と説いています。

私は、この教えの基に、此れからも「褒められた思い出作り」の為、頑張りたいと思っています。(田路義弘 前副理事長 生環17)

編集後記



★増金さんのふれあい喫茶は自宅を開放して月に2回の開催。取材前に話をお聞きして、なかなか出来る事でないと言っていました。ご主人は喫茶のスタッフをJR明石駅まで送り迎えしているとのこと。自治会長も「地域を生き生きさせてくださる」と感謝していました。(永野知己)

★カレッジふれあいホールに展示する部会・区会のポスターを新方式で一新することが出来ました。また併せてホームページのグループ紹介もご協力をいただき充実出来ました。各グループの素晴らしい活動内容の紹介が出来るよう、これからも注力していきたいと思えます。(岡本紘一)

★20周年準備委員会メンバーの一人として、記念誌(DVD)作成を中心に、皆さんと力を合わせて頑張ります。〈わ〉の本部・区会・部会の活動概要や20周年記念イベントなどを中心に取りまとめ、グループわの活動内容をより広く深く、理解して頂きたいと思えます。(藤田健一)

代表・総務・学習支援 group_wa@wa-net.jp

事業・パソコン教室: wa_support@wa-net.jp

ふれあい喫茶10年の集い

2016年6月12日 西区 一寸奉仕の増金さん宅



大正琴の前田さん(右から3人目)らの演奏



ずらりと並んだごちそう



井戸兵庫県知事の揮毫(上)とお孫さんの書

トピックス



マジックの南形さんと増金さん(右)



銭太鼓の阿部さん(右端)ら
本文9P

須磨海岸クリーン作戦は6月26日(日)に開催され、神戸ぴかぴか隊約50人(写真⑥)や須磨区会の有志が参加しました。須磨区会は7、8月は毎週清掃活動を実施しています。



写真 事業・四方久幸、広報・永野知己、藤田健一



国際会議お茶の出前教室で

本文7、8P